

作成日 : 1996年01月31日  
改定日 : 2024年01月26日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :

製品名称 : ケイカルエース・スーパーシリカ WPカバー  
ケイカルエース・スーパーシリカ WPボード  
整理番号 : NKQ-002  
一般名 : けい酸カルシウム保温材  
推奨用途及び使用上の制限 : 保温材、断熱材  
カタログ、安全データシート等に記載の用途や目的以外には使用しないこと。

会社情報

供給者の会社名称 : 日本ケイカル株式会社  
住所 : 〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川2020番地  
電話番号 : 053-522-1911  
FAX : 053-523-1671

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類:混合物としての評価

健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2

※記載なきGHS分類区分 : 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 発がんのおそれ  
遺伝性疾患のおそれの疑い  
長期にわたる、又は反復ばく露による肺、呼吸器系、免疫系、腎臓の障害のおそれ

注意書き

安全対策 : 使用前に安全データシートを入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じんを吸入しないこと。  
適切な保護手袋、保護衣、保護めがねを着用すること。  
必要に応じて呼吸用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。  
取扱い後はよく手を洗うこと  
取扱い作業場所で飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置 : 気分が悪いときは、医師の手当て/診断を受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の手当て/診断を受けること。

保管 : 水に濡れないよう保管すること。

廃棄 : 内容物/容器を都道府県の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示 整理番号	含有量 (%)	労働安全衛生法 <sup>1)</sup> 対象物	特定化学物質の環境への 排出量の把握等及び管理 の改善の促進に関する法 律(PRTR法) <sup>2)</sup>	
					第一種	第二種
けい酸カルシウム	1344-95-2	1-194	90 - 98	非該当	非該当	非該当
ガラス長繊維 <sup>注3</sup>	65997-17-3	-	1 - 5	非該当	非該当	非該当
炭化けい素	409-21-2	1-174	1.0 - 5.0	336	667	非該当
結晶性シリカ	14808-60-7	1-548	0 - 1	165-2	非該当	非該当

注1:主成分及び上記法律1)2)の対象物質、その他危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

注2:これらの値は、製品規格値ではありません。

注3:成形品のためGHSの適用範囲外

注4:シリコーン系は水剤を添加し、水性を付与しています。

## 4. 応急措置

- 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは、医師の手当て／診断を受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合は、医師の手当て／診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合：付着した部分を石鹼水で洗浄し、やや熱めの温湯で洗い流すこと。  
外見に変化がみられたり、痛みが続く場合は、直ちに医師の手当て／診断を受けること。  
気分が悪いときは、医師の手当て／診断を受けること。
- 眼に入った場合：異物感がなくなるまで清水で洗浄すること。目をこすらないこと。  
目の刺激が持続する場合は、医師の手当て／診断を受けること。  
気分が悪いときは、医師の手当て／診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。  
気分が悪いときは、医師の手当て／診断を受けること。

## 5. 火災時の措置

不燃性なので、特別な措置は必要ない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ：適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照。
- 環境に対する注意事項：排水溝や河川に流さない。粉じんの発生を避ける。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、  
空容器／プラスチック袋などに詰めて、通常の産業廃棄物と同様の扱いとする。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

使用前にこの安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

切断加工などを行う場合は、粉じんが発生するおそれがあるので、次の点に注意すること。

- ・呼吸用保護具を着用すること。
- ・電動工具を使用する場合は、局所排気装置・集じん装置を設置すること。
- ・作業衣などに付着した場合は、粉じんの飛散に留意して取り除くこと。
- ・取扱い後は、うがい及び手洗いを励行すること。

また、使用済みの本品を取り換える際に、粉じんが発生するおそれがあるので、作業時に湿潤化を推奨する。  
 保管上の注意  
 水濡れ厳禁とし、常温常湿の屋内で保管すること。

#### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 :  $3.0/(1.19 \times Q + 1)$  mg/m<sup>3</sup>  
 (Q=遊離けい酸含有率%、「3. 組成及び成分情報」の結晶性シリカの値を利用する)  
 許容濃度 : 日本産業衛生学会(2022)の許容濃度の勧告値 :  
 第2種粉じん(結晶性シリカ含有率3%未満の鉱物性吸引性粉じん)  
 吸入性粉じん・・・1mg/m<sup>3</sup>、総粉じん・・・4mg/m<sup>3</sup>  
 吸入性結晶質シリカ(遊離けい酸)・・・0.03 mg/m<sup>3</sup>  
 ACGIH(米国産業衛生専門家会議)による許容濃度(2019) :  
 結晶質シリカ(遊離けい酸)・・・0.025 mg/m<sup>3</sup>

設備対策 : 室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

保護具 :

- ・ 呼吸用保護具

切断加工などを行う場合は、施業に適した呼吸性保護具を着用する必要がある。

なお、防じんマスクを使用する場合は、取替え式と使い捨て式のいずれでもよいが、必ず国家検定合格品を使用すること。また、防じんマスクの装着にあたっては、顔面への密着の状態に特に留意するとともに、取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換、吸排気弁の劣化の確認などの保守管理を適切に行うこと。

- ・ 保護めがね

必要に応じて、ゴーグル、サイドシール付き保護めがねなど、作業に適した保護具を使用する。

- ・ 手袋・作業衣

手袋、長袖の作業衣など、作業に適したものを使用し、皮膚が露出しないようにする。

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体(板状またはカバー状)  
 色 : 白色  
 臭い : データなし  
 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし  
 可燃性 : 不燃性  
 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 該当しない  
 引火点 : 非引火性  
 自然発火点 : なし  
 分解温度 : データなし  
 pH : データなし  
 動粘性率 : 該当しない  
 蒸気圧 : データなし  
 密度 : 155kg/m<sup>3</sup>以下  
 相対ガス密度 : 該当しない  
 粒子特性 : データなし

#### 10. 安定性及び反応性

通常の保管及び取扱いの条件においては、安定である。

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口) : データ不足のため分類できない  
 急性毒性(経皮) : データ不足のため分類できない

急性毒性(吸入:ガス)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん)	: データ不足のため分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	: 区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	: 水に濡れた状態で長時間触れると皮膚が荒れることがあるが、データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性/目刺激性	: 物理的刺激性が認められているが、データ不足のため分類できない
呼吸器感受性又は皮膚感受性	: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: 結晶質シリカ(石英)を1.0%以下含有し、切断加工などにより粉じん暴露の可能性があるため区分2とした
発がん性	: 結晶質シリカ(石英)及び炭化けい素を0.1%以上含有し、切断加工などにより粉じん暴露の可能性があるため区分1Aとした ガラス長繊維はIARCでグループ3(ヒトに対する発がん性は分類されない)、ACGIHでA4(人に対し発がん性物質として分類できない物質)に分類されている
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器(単回ばく露)	: 炭化けい素(呼吸器)を1.0%以上含有し、切断加工などにより粉じん暴露の可能性があるため区分2とした
特定標的臓器(反復ばく露)	: 結晶性シリカ(呼吸器、免疫系、腎臓)、炭化けい素(呼吸器)を1.0%以上10%未満含有し、切断加工などにより粉じん暴露の可能性があるため区分2とした
誤えん有害性	: データ不足のため分類できない

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 13. 廃棄上の注意

廃棄する場合は、周辺環境中に粉じんが飛散しないよう注意すること。

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物となる。廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、適切に処理を行う。

## 14. 輸送上の注意

輸送中の包装の破損などによって粉じんが飛散しないよう注意すること。

国連分類 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

## 15. 適用法令

### ・労働安全衛生法

第57条 : 表示対象物 結晶性シリカ、炭化けい素<sup>注)</sup>

注) 表示対象物を含有するが、「運搬中及び貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ粉状にならない製品」は表示の適用除外となり、本製品はこれに該当する。

第57条の2 : 通知対象物 結晶性シリカ、炭化けい素

第57条の3 : 適用対象物 結晶性シリカ、炭化けい素

### ・労働安全衛生規則

第577条の2第3項 : 適用対象物 結晶性シリカ(石英)(がん原性物質)  
炭化けい素(がん原性物質)

- ・粉じん障害防止規則 : 鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上する場所における作業(粉じん則別表1の6号)
- ・じん肺法 : 鉱物(本製品)を裁断し、彫り、又は仕上する場所における作業(じん肺法施工規則別表6号)
- ・毒物及び劇物取締法 : 適用なし
- ・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)
  - : 第1種指定化学物質 炭化けい素(2023年4月1日施行)

## 16. その他の情報

### 参考文献

- 1) 労働省告示第79号:作業環境評価基準(平成27年9月30日改訂)
- 2) 許容濃度等の勧告(2022年度)日本産業衛生学会(2022.5.25):産衛誌64巻、2022
- 3) 発がん性物質の分類とその基準(第7版):(社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 4) 化学物質総合情報提供システム:独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)
- 5) JIS Z 7253:2019(GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS))
- 6) ACGIH(米国産業衛生専門家会議) Table of exposure limits for chemical and biological substances (2019)

### 記載内容の取扱い

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。  
記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・データに基づいて作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありません。